

令和2年3月9日

ほうこく保育園 保護者の皆様

ほうこく保育園  
園長 筑波晃英

春寒ようやくゆるむ候、皆様におかれましてはご清祥のことと存じます。この度の新型コロナウイルス感染拡大予防に関連しまして、ほうこく保育園の保育活動に多大なご協力とご理解をいただいておりますこと、深く感謝いたします。

3月2日からの1号認定児の休園のお願いにつきましては、政府より小中高特別支援学校の休校の要請に関しまして、子どもたちの健康・安全を第一に考えるとの発表がありました。そうした事由である以上、乳幼児を対象とした施設もその範囲であるべきことが当然と思われれます。当園では姫路市教育委員会の判断や姫路市立こども園の措置を元に1号認定児の休園の措置とさせていただきました。

2月29日のみんなの集いに関しましては、先ず子ども達の活動を最優先に考慮して、それぞれの子どもたちが保育園での活動を共に過ごしてきた最後の発表会であること、また保護者の皆様に見ていただくことをとても楽しみにしていたことを重んじ開催させていただきました。その際には厚生労働省の卒園式入園式の開催に関する注意事項に準拠し、出来る限りの準備をして保護者の皆様には出席が強制ではないことをお知らせして開催いたしました。その際に関しまして、皆様にご理解とご協力をいただいたこと、また開催後に「大変な中みんなの集いを開いてくれてありがとう」といった感謝のお言葉や「子どもたちが異年齢保育の中で大切なことが育まれていた」といったお気づきの点をお伝えしていただき、職員一同大変喜んでおります。

さて、3月11日の年長児の卒園参拝は中止とさせていただきました。理由は新幹線での行程からバスへの切り替えを検討したものの、移動が1時間半を超える長時間であること。現在は兵庫県内での感染者の発表が相次いでいるものの、判断当時は京都での感染者が相次いでいたこと、また海外を含め多数の旅行者が集中する地域であることなどです。年長児の子ども達にとって貴重な経験と大切な仲間たちとの思い出となる時間である活動を中止することは大変残念です。何か別の活動でそのことを補いたいと考えています。何卒ご理解いただきたいと思います。

今後の活動といたしましては、お別れ会や送る会、卒園の集いは、最善の方法を考え、子ども達の成長の糧となる活動を考えていきます。新型コロナウイルスの感染に関しては刻々と状況が変化しております。私たち職員一同力を振り絞り子ども達の健やかな成長のために努力を惜しまない所存ですので、今後も何卒よろしくお願い致します。

最後になりますが今話題のミラノの校長先生の言葉とある師匠の言葉を紹介して締めくくらせていただきます。「この手の危機に打ち勝つ際の最大のリスクは、社会生活や人間関係の荒廃、市民生活の蛮行です。見えない敵に脅かされた時、人はその敵があちこちに潜んでいるかのように感じてしまい、自分と同じような人々も脅威だと潜在的に思い込んでしまう、それこそが危険なのです」、「買い占めのエネルギーとシェアのエネルギー どちらの世界を選びますか？ いくら買い占めてもいつかなくなる。愛やコミュニティ、土と水、太陽、循環するものは無くならず、大事にすれば増えていく。」